

県政モニターアンケート結果等

参考資料 3

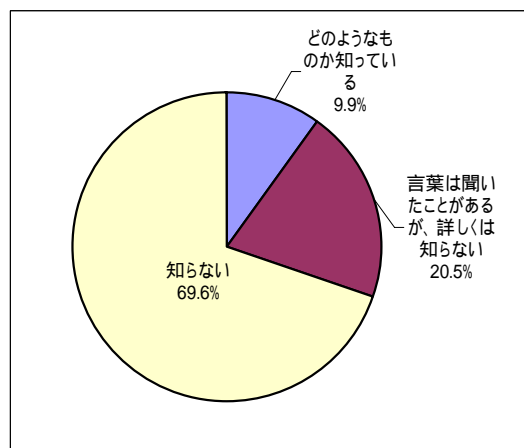
1. 県政モニターアンケート結果

設問 アール・ブリュットを知っていますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	%	実数(人)
どのようなものか知っている	9.9%	30
言葉は聞いたことがあるが、詳しくは知らない	20.5%	62
知らない	69.6%	211
計		303

「どのようなものか知っている」を選択された方にお尋ねします。アール・ブリュット作品(現物)をご覧になったことがありますか。

項目	%	実数(人)
1. 見たことがある	41.4%	12
2. 見たことがない	58.6%	17
計		29



2. 県広報誌「滋賀プラス1」3・4月号

特集「アール・ブリュット 滋賀からの新たな光」への主な感想(自由記述)

3/4月号への主なご意見・ご感想など		年齢	性別
1	一瞬、南米当たりの民芸品かな?と思えた。まだまだ知らない美術がたくさんあるんですね。機会があれば、足を運んでみたいと思います。	30代	女性
2	アール・ブリュットとても興味があります。最近、県内のあちこちで展覧会があり楽しみです。美術で障害者への理解を深めると共に、社会における弱者の立場をみんなで考え、触れ合う社会を希望します。	40代	女性
3	「アール・ブリュット」ってその時、その気分で出来上がる、しいて言えばその人の魂がこめられた作品...すごい!!	40代	女性
4	滋賀県を日本・アジアでのアール・ブリュットの拠点にしていこうという実に力強い意欲を感じました。今後是非時々特集していただきたいと思います。	30代	女性
5	障害者を子に持つ親として、作品展や現場を見学することは多くありましたが、ただなんとなく、仕方なくついているくらいの気持ちで見えておりました。しかし、「アール・ブリュット」の記事を見て、今後はこのような作品を見る目が大きく変わりました。滋賀県は福祉の先進県と言われておりますが、今後ともいろいろな分野に発展することを願っております。	70代	男性
6	アール・ブリュットにとっても感動しました。パリでの開催にとっても興味がありました。まだまだ「障害者のアート」と思われていることが多く、高齢者の作品にもとても素敵な作品があると感じました。	60代	女性
7	私も偏見ではありませんが、障害者によるアートという風にとらえていたのかもしれない。きちんした正しい情報って本当に必要ですね。	50代	女性
8	「アール・ブリュット」を初めて知り、仕事から、物を作ると言う観点と同じで色々な観点で物事を感じ・考えなければと、改めて思いました。また滋賀の情報、環境、文化など勉強したいと思いますので、役立つ情報等を期待しています。	40代	男性
9	アール・ブリュットジャポネ凱旋展、大変よかったとのこと。このニュースを聞いた県民はみなおどろいた。その時点では、アール・ブリュットと呼ばれる芸術作品が十分理解できなかったが、特集としてのごせていただきよく分かった。見る人を引きつける自由な表現力、日本・アジアでのアール・ブリュットの拠点として、県内県施設などでも展示していただきたい。	60代	女性
10	アール・ブリュットすごく興味があり、ぜひ実物を見に行きたいと思いました。私も絵を描いたりするのが好きですが、思うままに表現するのが難しいです。	60代	女性
11	初めて聞きました。よく見ると味わいのある作品ですね。近くの歴博などで展示されることを希望します。	60代	女性
12	アール・ブリュット、子供の作品のような感じを受けるこの作品、見るだけなら楽しいが、作るのは大変そう。でも若干の興味はある。	60代	男性
13	何かでアール・ブリュットのことをお聞きしましたとき、一度拝見したいと思っておりました。芸術的ですが素晴らしい作品だと思っています。	60代	男性
14	アール・ブリュット特集は、万人への周知をしていて良かったです。ただ残念ながら、日本ではまだ障害者のという偏見が強いので、その偏見を取り除くような特集や記事を再び見たいです。世界では、彼らの評価は非常に高いので、文化をはぐくむという意味でも有益だと思います。	30代	男性

15	「アール・ブリュット」の魅力について勉強になりました。ポーダレス・アートミュージアムHO - MAでも作品を拝見したことがあります。根気のいる作品に驚かされました。	50代	女性
16	芸術作品の魅力が大発見し、これから滋賀県の作業所の皆様にがんばっていただきたい。	50代	女性
17	今回の特集で、「アール・ブリュット」と呼ばれる芸術分野の作品ということを知りました。記載された写真からも、私は生命の鼓動や素朴なやすらぎを感じました。それらの作品を生み出している人たちに「思い切りできる環境」と「直接よりそう人たち」と「包括的な公的支援」と「発表の機会」などを与えて下さったいろいろな方々に感謝したいと思います。先駆的にこの振興に取り組んでいる「滋賀県」にもエールを送ります。	50代	女性
18	アール・ブリュットの作品がかもしだす、不思議な魅力にしばし引きつけられました。紙面を通してだけではなく実物の作品を見たら、また違ったものを感じるのでしょうか。ぜひ見てみたいです。	40代	女性
19	私はアール・ブリュットという言葉を知り、とても興味・関心を抱きました。3・4月号で特集して下さり、とてもわかりやすかったです。	40代	女性
20	ピアザ淡海にもアール・ブリュット作品が展示されていたり、NO - MAの作品も見に行きました。誰もが自由に発想し表現できる。またそれを受けとめる環境があることがすばらしいです。	40代	女性
21	障害のある方にスポットを当てることにより、よりよい福祉県のSHIGAになること、強く望みます。	40代	男性
22	「アール・ブリュット」は、初めて知りました。パリで博覧会が開かれ、高く評価されていたことは知っていましたが、内容はよく知らなかったの。"障害者と共に"という考えで、滋賀は前向きに取り組んでいると思いますが、もっと広くたくさんの方が関わっていただけるようにと願います。いろんな障害者のいろんな取り組みをもっと紹介してください。	40代	女性
23	アール・ブリュットと聞いて、何かよく分からなかったが、読み進めていくうちにすごく身近な芸術として感じられた。機会があれば、いろんな面で体験してみたいと感じました。	30代	男性
24	実は今までサーッとしか目を通さなかったのですが、今回はじっくり見ました。	30代	女性
25	アール・ブリュットの特集良く分かりました。次回は、数々の作品の紹介をお願いします。	70代	女性
26	アール・ブリュットという言葉初めて知りました。何にもとらわれずにうぶのままの作品なんですか？素晴らしい言葉だと思いました。自分も何か物作りのとき、型にとらわれずに作ってみたいと思いました。	60代	女性
27	昨年テレビでアール・ブリュットのことを見て少し知っていましたが、今回の特集でより詳しく分かり、これから鑑賞するときの参考になりました。	60代	女性
28	「アール・ブリュット」という言葉を初めて知り、またどうい芸術かということも初めて知りました。	50代	男性
29	アール・ブリュット、初めて知りました。本能のままに作らずにはいられない、そんな気持ちを味わいたくなりました。	50代	女性
30	澤田さんなど滋賀県在住の方の活躍ぶりが掲載されていました。もっと全国の方々に知っていただきたいと思いました。アピールよろしく願います。滋賀県の自慢じゃないですか。	50代	女性
31	「人間の本质って何だ？」を考えるアート「アール・ブリュット」聞き慣れない言葉で記事を読みました。実感はないのですが、障害者の芸術かな？としか理解できません。今後もこのような特集をお願いします。	50代	女性
32	アール・ブリュットの特集がとてもおもしろくて勉強になりました。作品の写真がカラーでないのがとても残念だったので、ぜひ実物を見に行きたいと思いました。身近な会館やカフェでもこのような素晴らしい作品を展示し、いろいろな人にも気軽に見られるようになればいいですね。	30代	女性
33	今回のアール・ブリュットの記事を読ませて頂き、NO - MAに行くきっかけを作ってもらいました。展示している作品がどれもがとても丁寧で、細かに描かれているのに驚きました。アール・ブリュットを目で心で楽しませて頂きました。	50代	女性

20代	0	8
30代	6	25
40代	8	33
50代	9	
60代	8	
70代	2	
計	33	